

Python で MAC アドレスを扱う

netifaces っていうのを使うのが便利みたい .

```
import netifaces
```

で ,

```
netifaces.interfaces()
```

とかやるとインターフェースのリストが取れる .
名前がわかっている個別のインターフェースについては ,

```
netifaces.ifaddresses('enp3s0f1')
```

とかすればいい . 'enp3s0f1' がインターフェース名 .
いくつかの情報が dict に格納されてくる .
イーサネットの情報が欲しければ ,

```
netifaces.ifaddresses('enp3s0f1')[netifaces.AF_LINK]
```

でアクセスできる .
MAC アドレスは ,

```
netifaces.ifaddresses('enp3s0f1')[netifaces.AF_LINK][0]['addr']
```

とかすると 16 進の : 区切りの文字列で返ってくる .

```
macaddr_str = netifaces.ifaddresses('enp3s0f1')  
bytearray([int(x, 16) for x in macaddr_str])
```

とかすると , バイト列として得られる .